

## 【セッション4】

### 「ベトナム人介護福祉士として日本で働く楽しさ」

岡田智幸氏（奈良東病院）

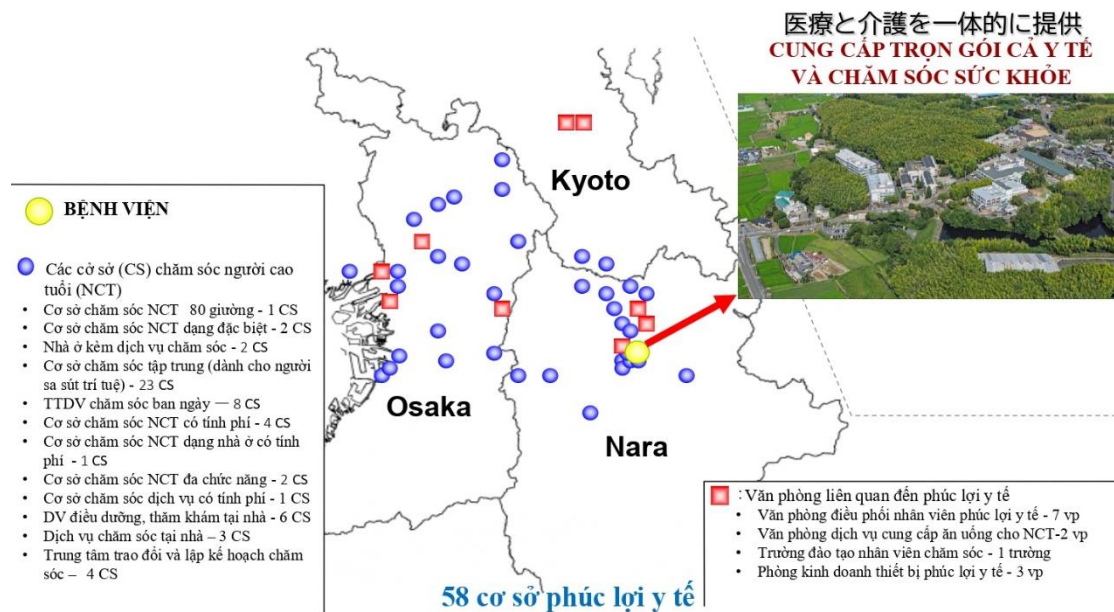
レ ティ ベンさん（奈良東病院グループ、介護福祉士）

原国芳氏（社会福祉法人千寿会）

グエン ゴック ティンさん（社会福祉法人千寿会、介護福祉士）

ディン ディンさん（社会福祉法人千寿会、介護福祉士）

## 奈良東病院グループ事業所 HỆ THỐNG CÁC CƠ SỞ CỦA TẬP ĐOÀN



奈良東病院の岡田と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私からはグループの紹介と海外事業の紹介をしてベンさんにつなごうと思います。

私たちは奈良、京都、大阪において病院を中心に特養、老健、有料老人ホーム、通所サービス、訪問介護事業を展開しております。特に奈良の北部で日本で地域包括ケアと呼ばれるものを提供しております（スライド右上写真）。これは、病院や介護施設、通所サービス、訪問介護サービスを一つの場所に一体的におく施設です。今はコロナの影響もあって少なくなりましたが、多くの海外の方が見学に来られます。

### 奈良東病院グループにおける海外人材受入れの取り組み

#### TIẾN HÀNH TIẾP NHẬN NGUỒN NHÂN LỰC NƯỚC NGOÀI CỦA TẬP ĐOÀN BỆNH VIỆN NARA HIGASHI

日本の介護事業は、今後益々スタッフの確保が困難になる事が予測されます。こうした背景の下、奈良東病院グループでは、約20年前から海外人材の確保を目的に実証検証を続けており、外国人受入れにおいて体制・技術・ノウハウ・ネットワークを蓄積してきました。

Theo dự đoán việc đảm bảo nguồn nhân lực trong ngành điều dưỡng, chăm sóc ở Nhật Bản sẽ khó khăn hơn trong tương lai. Trong bối cảnh đó, từ 20 năm trước Tập đoàn bệnh viện Nara Higashi đã tiến hành tìm hiểu và kiểm chứng nhằm mục đích đảm bảo nguồn nhân lực nước ngoài. Chúng tôi đã xây dựng được một hệ thống mạng lưới tiếp nhận nguồn nhân lực nước ngoài.

海外の取り組みですが、約20年前から介護の人材不足を予測しており検証を続けてきました。

# 海外人材受け入れ(2021年7月)

NỖ LỰC TIẾP NHẬN NGUỒN NHÂN LỰC NƯỚC NGOÀI



## 在籍 50人 (のべ73人)

Hiện tại có 50 người (tổng cộng 73 người)

- |         |     |             |          |
|---------|-----|-------------|----------|
| ・ベトナム   | 36人 | Việt Nam    | 36 người |
| ・フィリピン  | 9人  | Philippines | 9 người  |
| ・中国     | 2人  | Trung Quốc  | 2 người  |
| ・台湾     | 1人  | Đài Loan    | 1 người  |
| ・インドネシア | 2人  | Indonesia   | 2 người  |



現在、私たちのグループには海外の方が50人在籍しております。特にベトナムの方が最近多くなってきております。EPAの方、介護留学の方、介護技能実習生の方、特定技能の方も数名おられます。

奈良東病院グループにおけるベトナム事業拠点  
(2020年12月1日現在)

## ĐỐI TÁC LIÊN KẾT VỚI TẬP ĐOÀN TẠI VIỆT NAM (Tính đến 01/12/2020)



4. フォンマート大学 (4年制)  
Đại học Buôn Ma Thuột (hệ 4 năm)
2. タイグエン大学 (4年制)  
Đại học Tây Nguyên (hệ 4 năm)
1. カントー医療短期大学 (3年制)  
Cao đẳng y tế Cần Thơ (hệ 3 năm)
3. チャビン大学 (4年制)  
Đại học Trà Vinh (hệ 4 năm)



カントー医療短期大学における現地教育  
BUỔI TẬP HUẤN TẠI TRƯỜNG CAO ĐẲNG Y TẾ CẦN THƠ

ベトナムでの事業展開を紹介します。特に中部、南部の看護大学や看護短期大学と連携を取っております。なかでも、ホーチミンから車で南に4時間ほどのところにある、カントー医療短期大学とは、2017年に現地教育の連携をさせていただいています。私たちのスタッフが現地に行き、老年介護学や高齢者介護などを実際に教員の方々にレクチャーさせていただいたり、学生との情報交換をしたりと現在も継続しております。

## 老年看護学(高齢者介護)教材づくり ベトナム看護協会との覚書

BIÊN BẢN GHI NHỚ VỚI HỘI ĐIỀU DƯỠNG VIỆT NAM  
VỀ BIÊN SOẠN GIÁO TRÌNH ĐIỀU DƯỠNG LÃO KHOA  
(CHĂM SÓC NGƯỜI CAO TUỔI)



先ほど基調講演をしていただきました、ベトナム看護協会のムック会長にも老年介護学、看護学の教材作成に監修をしていただいております。これらの教材をカントー医療短期大学でも使用させていただきます。



## レー ティ ベンさん Mrs. Lê Thị Ven



次に登壇いただくベンさんについて、少しだけ紹介させていただきます。

ベンさんは 2018 年に来日され、私たちのグループにいます介護福祉士専門学校である、近畿社会福祉専門学校に入学して2年間学びました。その間、同じグループのグループホームでアルバイトをしながら生活をされていました。一度目の国家試験は少し点数が足りなかったのですが、今年合格さ



2018年来日し、近畿社会福祉専門学校に入学（2年間）  
Năm 2018 sang Nhật, nhập học trường phúc lợi xã hội Kinki (hè 2 năm)



介護福祉士国家試験に合格し、現在ベトナムから家族を呼んで日本で一緒に生活しています  
Đã đầu chúng chỉ quốc gia chăm sóc viên, hiện tại đã bảo lãnh gia đình cùng sống tại Nhật.



2020年より当グループ、エバーライフ加島（介護付有料老人ホーム）にて勤務  
Hiện đang làm việc tại Everlife Kashima (nhà dưỡng lão kèm chăm sóc sức khỏe có thu phí) thuộc Tập đoàn từ 2020.

れました。今は家族を呼んで大阪で一緒に生活されています。それではベンさんお願いします。

レ ティ ベンさん（奈良東病院グループ、介護福祉士）

## 介護職は聖職

### プロフィール

- ・ 氏名：レー・ティ・ベン
- ・ 年齢：34歳
- ・ 出身：ベトナム南部にあるビンロン県
- ・ 日本滞在歴：2007年7月～2010年7月、3年間  
2010年日本語能力試験N2取得済
- ・ 技能実習満了後、ベトナム帰国
- ・ 2018年近畿社会福祉専門学校へ介護留学生として再度来日
- ・ 2020年近畿社会福祉専門学校 卒業
- ・ 2021年度 介護福祉士国家資格を取得し、現在大阪市在住

2018年来日し、近畿社会福祉専門学校に入学（2年間）



8年ぶりに2018年4月留学として近畿社会専門学校に2年間で留学しました。専門学校では最初に日本語が大きな壁でした。技能実習を満了し、帰国後、日本語をあまり使う機会がなかったため、再度来日し、専門学校で専門用語の多さで徹夜の毎日でした。

私は 2007 年 7 月から 3 年間、名古屋で技能実習生として働きながら日本語を勉強して、2010 年に日本語試験の 2 級を取得して帰国しました。

8 年ぶりに 2018 年に近畿社会福祉専門学校へ留学して、再来日しました。2 年間通って介護福祉士になりました。専門学校では、日本語が大きな壁になりました。一度帰国して日本語を使う機会が減っていたのと、専門用語も多くて最初はとても困りました。

# 留学時代



## ここから加島の高齢者施設にアルバイト

## 介護福祉士国家試験合格

卒業して1回目の試験は合格できませんでしたが、有料老人ホームエバーライフ加島で働きながら勉強して、翌年の試験には合格できました。

2018年4月に近畿社会専門学校に卒業しましたが、一回目に国家試験が取得できずに、有料老人ホームエバーライフ加島で働き、もう一度、試験対策を勉強しながら実際に様々な体験させていただいた結果、2021年度の国家試験を受かりました。

## 日本における生活



- 就職してから現在2年目となり、仕事にだんだん慣れてきて入居者様々のADL理解した上、尊重・尊厳を守って働きます。
- 入居者様と深く信頼関係が構築でき、毎日楽しく働いています。
- 最初に留学2年+仕事5年(大阪府修学貸付金制度活用)で長いと思われる方もいるかもしれませんが、私にとっては家族が近くにいるので安心して生活しています。

- 2021年1月に家族3人旦那と子供2人👨👩👧👦コロナ時期なのに無事に来日でき、緊急事態継続の為、生活に様々な出来事がありますが、現在家族全員が日本で楽しい暮らしを送っています。
- 現在、子供👧小学校1年生と保育園に入られている、将来的に子供達が大きくなってから、定年になってから母国に戻ると思っています。

就職して2年目になり仕事にも慣れてきました。利用者さんのADLを理解して、尊重尊厳をもって働いています。

2021年にコロナ時期でしたが、無事、旦那と子供二人とも来日できて一緒に暮らしています。緊急事態が継続しているので生活は大変ですが楽しく過ごせています。子供も小学校と保育園に入れています。将来は、子供が大きくなって自分が定年になってから、母国に帰ろうと思っています。

どうもありがとうございました。



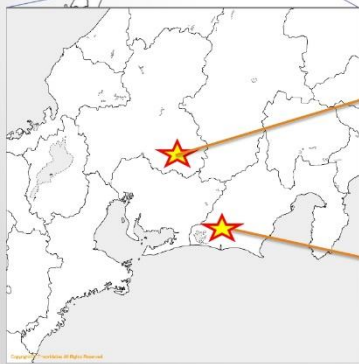
# 社会福祉法人 千寿会 SENJYUKAI Social welfare corporation

岐阜県瑞浪市を本拠地とする社会福祉法人

＜高齢者福祉＞ elderly care 大型の介護老人ホームを3施設  
通所介護デイサービスを1拠点

＜児童福祉＞ child welfare 認可保育園を2拠点

＜海外事業＞ (ベトナム・ダナン市 Da nang city)  
overseas project 福祉人材育成事業を展開



岐阜県 瑞浪市  
特別養護老人ホーム 千寿の里  
特別養護老人ホーム 千寿の里 西小田  
デイサービス サテライト日吉  
千寿の里 愛保育園  
千寿の里 もりの愛保育園

静岡県 浜松市  
特別養護老人ホーム みさくぼの里

社会福祉法人千寿会の原と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私たちの社会福祉法人千寿会で働いていますベトナムの EPA 職員の二人から、彼ら彼女らが感じた日本での就労についてお話しさせていただきます。その前に、私たち千寿会のベトナムでの取り組みについて、簡単に説明させていただきます。

千寿会は岐阜県瑞浪市を本拠地とします社会福祉法人になります。高齢者福祉については、介護老人ホームを3拠点、通所介護デイサービスを1拠点やっています。保育園も2拠点あります。そのなかで海外事業としては、

ベトナムのダナン市で福祉人材育成事業をやらせていただいています。

## 千寿会 ベトナム拠点 The Vietnamese base of SENJYUKAI



2010年9月～  
ダナン市の看護大学と提携

日本語-介護コースを設置  
プロジェクトは11年目に突入  
(日本語教師3名、現地に  
通年で派遣。)



日本語—介護コース

日本語と介護の学習、  
どちらも日本語を使用。  
現在は11期生が学習中。



2010年よりベトナム中部のダナン市の看護大学と提携し、日本語と看護を教えるコースを設置しています。このプロジェクトは11年目に突入しています。今回登壇する二人はこのコースの1期生と3期生になります。

2012年7月～  
日本初のベトナム人の  
来日介護研修を実施。  
約50～70日の介護施設  
での研修。1～7期を経て、  
2020年1月に9期生が来日。岐  
県瑞浪市にて研修。





# 社会福祉法人千寿会

# 来日KAIGO研修



今のコースの学習内容とは少し異なりますが、当時の彼らは日本語学習を1年少し、座学を中心に3ヶ月ほど介護を学習するコースを受けています。これらのコースを受けたのち、希望者には日本語試験のN2レベルを目指すコースを設置しています。このN2クラスでは、実際に日本に来て介護の現場を

勉強する来日介護研修を行なっています。約50日から70日間、見学が中心になりますが、私たちの施設で研修を実施しています。こうした研修を経て、N2の試験を経て、日越のEPAを通じて希望者は来日就労する流れです。

現在、24人がベトナムのEPAを通じて当法人に就労しています。うち10人が4年を経過して、介護福祉士の資格を取得しています。ほかのみなさんも、介護福祉士候補者として日々、業務とともに勉強に励んでいます。

## グエン ゴック ティンさん（社会福祉法人千寿会、介護福祉士）

みなさん、こんにちは。みさくぼの里で働いているティンと申します。みさくぼの里は豊かな自然に囲まれた場所にあります。



これからベトナムで日本語を勉強し始めたときから、今までの思い出や体験したこと、大変さをお話しさせていただきたいと思います。

みさくぼの里の景色です。緑色の中に現れ自然豊かな外観です。木と緑の温もりに囲まれて、癒される場所、落ち着いた時間を過ごせます。



## ダナンで日本語のクラスメンバー



ベトナムの中部にあるダナンの看護学校を卒業してから、千寿会の介護日本語クラスに参加しました。ここで1年間くらい日本語と3ヶ月ほど介護の知識を勉強しました。写真は介護の先生との写真とソーラン節を踊ったときの写真です。

ダナンで日本語と介護コース卒業後、もう1年間ハノイで EPA のプログラムに参加しました。日本語と日本文化、マナー等を勉強しました。ここで沢山の日本語先生と友達に出会いました。

## ハノイで日本語のクラスメンバー



## 岸田外務大臣と握手



岸田元外相がハノイの日本語クラスに訪問され、学生ひとりひとりと握手してくれました。



## 日本での生活



私は2015年5月に日本に来ました。この写真は、私たちが住んでいる寮の写真です。施設長は1週間に2日ほど寮に泊まるので、ときどき一緒に料理を作ります。

## 誕生日のパーティー



この写真は誕生日パーティーの写真です。それぞれ誕生日パーティーがあって、料理を作ったりケーキを食べたりできて嬉しいです。故郷から離れてホームシックになったこともあります。仲間がいるからこそ大変なことも乗り越えられました。

## 日本語の先生方と花見を



日本の先生と一緒にピクニックに行ったり、クリスマスパーティーをしたり、花見をしたり、いちご狩りをしたり。日本のことを何も知らない私たちがいろんな場所に連れて行ってくれた先生たちに感謝します。

今はコロナの関係でなかなか会えませんが、ときどきトウモロコシやお菓子など送ってくれます。とっても温かく優しい先生たちです。

施設長も、いろいろなところ

ろに連れて行ってくれました。生活面でも仕事面でもいろいろな応援をしてくださいました。施設長のおかげで日本の生活や現場の仕事にも慣れることができ、不安感や心配感がなくなってきました。

そして介護福祉士を取るためにときどき集合研修にも行きました。浜松ではフィリピンの方と出会い文化交流できました。ハノイと一緒に日本語を勉強した友達も、東京での集合研修で再会しました。

フィリピンの人たちは水窪に遊びに来て、ベトナム料理とフィリピン料理を交流し、いろんなお話ができました。

水窪の小学校の子供たちとも交流しています。料理を作ったり、ケーキを作ったり、ゲームをしたり。とてもかわいくて、子供たちの笑顔を見ると、疲れが取れるほど嬉しいです。



## 施設内の活動



施設内の活動についても少しお話しします。節分ではお菓子を配り、運動会では利用者さんと一緒にゲームをします。七夕では一緒に願いを書きました。敬老会では着物を着て踊ったり、クリスマスにもプレゼントを配ります。一緒に楽しんで、たくさん写真も撮りました。

水窪のお祭りにも参加したりして、日本でも出会いがありました。寮の前にある川に集まって一緒にお茶を飲んだり、友達と一緒に旅行に行ったりもしました。ご静聴ありがとうございます。



## 日本での出会い

## ディン ディンさん（社会福祉法人千寿会、介護福祉士）

私はディン ディンと申します。現在、千寿会で働いています。よろしくお願い致します。

私はベトナム EPA の第一陣で日本に来てから、もうすぐ丸7年になります。EPA に参加する前にはダナンで千寿会のプロジェクトに参加したおかげで、2012年に日本に来て、2、3ヵ月間実際の介護の現場で研修させていただきました。しかし当時は日本語能力も低く、研修の時間が短かったので、介護の仕事の内容とか大変なところとか楽しいところなどがはっきりわからないまま帰国しました。

その後すぐに EPA に参加し、2014年6月に来日して千葉で3ヶ月ほど研修しました。その8月には友達と別れて、実際の現場に入りました。最初の時期は本当にショックでした。でも私は事前に千寿会の研修に参加していたので、ショックは少ないほうかもしれません。研修に参加してない友達はもっと大きなショックだったと思います。

利用者には方言を話す人もいて、言葉もわからない。食事の介助などの仕事も大変でした。でも施設の職員がいつも親切で優しく教えてくれたので安心して仕事ことができました。一生懸命、何度も教えてくれて助かりました。

最初の1年目は日本語を勉強しながら、現場で働いていました。わからないことがたくさんありすぎて本当に一番大変な一年でした。そのときは友達も少なく後輩もいなかったもので、仕事以外は1人で過ごす時間が多かったです。退屈な1年目はそのまま、終わりました。

2年目からは仕事も慣れてきて、周りの職員の性格、働き方、仕事の内容や利用者の状態も把握できるようになりました。仕事の量が多少増えてきましたが、利用者と職員とも信頼関係ができて冗談を言えるようになったので、心が少し楽になりました。

現場には可愛い利用者がたくさんいます。休みの日に会わないととても会いたくなるような人もいます。しかし、わがままで暴れる利用者さんもいます。それでストレスがたまったときもあります。職員同士で意見がぶつかったり、仕事もいつもうまくいくわけではありません。みんなの働き方や性格に合わせてやるしかないと思ったこともあります。

でも2年目からは毎年、後輩がたくさん来てくれるようになりました。誕生日パーティーやカラオケなどをいつもみんなで集まって一緒にやります。そういうときは本当にストレスが発散できます。

去年からコロナの影響で帰国もできず、友達と一緒に過ごす時間も出かける時間もだいぶ減ってきました。以前みたいに遠くまで遊びに行けません。その代わりに施設が用意してくださった畑で10種類以上の野菜を育てています。スーパーで販売されていない野菜も作りました。今年はカボチャやゴーヤ、空芯菜、ヘチマなどを作りました。

疲れたときや時間があるときに、水やりとか草取りとかをしています。好きな野菜がたくさん取れるので、リラックスできて気持ちも良くなります。たくさんとれた野菜は友達にわけたり、施設の人と一緒に食べることもあります。都会の施設では難しいと思いますが、野菜作りはベトナムの人は喜ぶと思います。

私は国家試験に合格したら帰国しようと思っていましたが、施設の人がいつも優しくしてくださって外国人の制度も良い方向に改善してくださったので、今まで働いています。本当に感謝しています。



## 【質疑】

Q. 養成課程について。外国人人材と協働し、より良いケアの提供を目指すために、日本の看護や介護を学ぶ学生はどのような内容を学ぶと効果的だと思いますか？

A. ホップさんの話にもありましたが、まず、ベトナムの方も日本人もお互いの知らないことを理解し合うことが一番大事かなと思います。養成課程にどんなカリキュラムを入れるかですが、ベトナムではこれから高齢化が進むので高齢者介護の内容が必要になってきます。日本ではすでに行われている訪問看護や訪問介護なども、今後ベトナムでも重要になってくると思います。そのための情報交換ができればいいと思います。交換留学などもできれば、お互いに情報を得ながら、それぞれの国で生かしていけるとと思います。最終的に我々がやろうと思っていることは、教員の育成です。ベトナム人の教員が、ベトナムで高齢者介護をどのように伝えていくか。そのためには、実際に日本に来て介護学校などで研修をしていただくことを繰り返してもらおう。それでベトナムでの教育に生かしていただく。それが大事だと思います。カリキュラムの中身は専門家の先生の意見はあると思いますが、まずはお互いに理解していくということと、交流を深めていくことが大事だと思います。そのなかでお互いが同じ立場にいることを理解していく。日本は高齢化社会を早くにむかえており、ベトナムはこれからです。先にむかえたからいいということではなく、先に学んだことをベトナムに伝えていく。ベトナムはベトナムで学んだことを日本に提供していただく。双方で情報交換していくことが必要だと思います。ゴールはありません。(岡田)

A. ベトナムでは「介護」という仕事がまだ馴染んでいないので、まずは介護とはどんな仕事かという職業認識を教えることが必要です。技術面に関しては、「どこで教育するか」によって教える内容が違ってくると思う。教育期間によっても、優先順位をつけて何を教えていくかを考えながらカリキュラムを組まないといけないと思います。(ホップ)

## 【閉会のあいさつ】

3名のベトナムの方々からお話をいただき、フロアーから「彼/彼女らが働く施設を見学したい」とのご要望をいただきましたが、現在は新型コロナ感染対応でどの施設も忙しくされておりますので、施設訪問は厳しい状況にあるということをご理解ください。

本日は「ベトナムから日本の介護へ」というテーマで多くの方々にご登壇いただき、それぞれのお仕事、立場、視点、経験から貴重なお話を伺うことができました。本当にありがとうございました。

インターネット上で公開されている論文や研究成果もありますので、ご興味のある方は参考にされると良いかと思います。

今後もベトナム人介護人材に関するセミナーも開催予定です。またご参加いただければと思います。本日はありがとうございました。(二文字屋)